

問 風力発電設備の再エネ導入を総合的に評価し、必要に応じて軌道修正する考えはあるのか。
現時点で、風力発電事業に対する市の立場は、ニュートラルであり、これを直接推進する施策はない。

答



問 再生可能エネルギーの導入促進における風力発電設備設置について
市は導入ポテンシャルと地域負担のバランスをどう評価しているか。

答 脱炭素施策の推進は市の地域資源が有効に活用され、新たな投資の呼び水になるなど、持続可能なまちづくりや地域活性化への効果も見込めるもので、地域経済の衰退につながるとは考えていない。

本市のキャリア教育の実績と未来に向けた確

かな取り組みについて

問 本市のキャリア教育の取り組みと、それに対する支援は。

答 長年にわたって取り組んできた「ふるさと・キャリア教育」は、ふるさとの良さを発見する機会を充実させることで、ふるさとへの愛着心を醸成し、地域への貢献意欲や自己肯定感の向上を図っている。中でも「ふるさとかづの絆プラン事業」において体験活動と学校同士の交流活動を合わせた取り組みが評価され、今年度キャリア教育の優良教育委員会として文部科学大臣表彰を受賞した。今後も地域に根差した特色ある教育活動を実践していく。

質問した項目

- 鹿角市の脱炭素関連事業の現状と今後の方向性について
- 再生可能エネルギーの導入促進における風力発電設備設置について
- 本市のキャリア教育の実績と未来に向けた確かな取り組みについて



録画配信はこちらから

保田 直美 議員 (無会派)

質問時間 30分

問 スキー授業が実施されなかったことに対する児童生徒、特に小学生の受け止めについて伺う。
中止について児童生徒や保護者へ直接アンケート等は取っていないが、スキー授業が中止になったことに対する声は各学校に届いていない。

答



問 鹿角におけるスキー授業について
花輪小中学校でスキー授業が実施されなかった件について、決定までの経緯を伺う。

答 スキー授業は体育の授業の一環として行うものであり、その実施の判断や授業計画の変更については、各校の学校長の裁量と責任において判断される。中止決定に関し、両校の保護者から反対意見は寄せられていない。中止決定に関して、スキー用具の購入は、

鹿角のスキー文化

問 鹿角のスキー文化と地域資源を踏まえ、次年度以降のスキー授業継続への考えについて伺う。

答 スキー授業は学校長の裁量のもとに計画されるもので、市としては現在実施している輸送支援や指導者派遣等により、引き続きスキー授業の実施を支援していく。



録画配信はこちらから